

衝撃！ 算数教育は、関西圏の独壇場？

高知の受験生にはちょっと衝撃的な事実があります。塾業界では良く知られたことですが、実は大阪など関西地区の小学生は、算数が滅茶苦茶良く出来て、高知で「算数が良く出来る」と言われていても、関西圏の受験生には太刀打ちできないことが多いのです。これを端的に示したデータがあるので紹介しましょう。

下の表は、愛媛にある四国最難関校、愛光中学の入試結果です。愛光中学の入学試験は毎年1月初旬にあり、松山・福岡・大阪・東京の4会場で、**全く同じ入試問題を使って同時開催**されます。毎年、会場ごとの科目別平均点が発表されていますが、この「大阪会場の算数」の受験者平均点を、他会場のそれと比べてみて下さい。

【愛光中学入試】会場別 受験者平均点(3年分)

平成29年	国語	算数	社会	理科
松山会場	75.9	54.5	54.0	60.4
福岡会場	80.9	58.5	60.3	61.2
東京会場	81.2	65.3	60.2	65.6
大阪会場	81.9	85.4	61.7	69.1

平成30年	国語	算数	社会	理科
松山会場	66.8	64.6	54.0	52.5
福岡会場	74.3	77.3	60.5	57.5
東京会場	76.6	78.8	60.2	59.4
大阪会場	74.2	91.4	59.6	62.3

平成31年	国語	算数	社会	理科
松山会場	60.1	57.5	53.5	55.9
福岡会場	66.2	68.6	58.8	60.3
東京会場	69.0	72.5	58.8	62.0
大阪会場	66.8	83.4	57.1	64.5

なんだか1か所だけバグっているような数値ですね。

松山会場に集まるのは、主に愛媛県内の小学生と、高知や岡山・広島 of 精鋭です。東京には翌月に開成中などの受験を控えた首都圏の子供達、福岡には久留米大付設やラサールを目指す九州の子供達、大阪には灘や東大寺を目指す子供達が集まって、本番前の練習台としています。松山も東京も、集まってくるのは決して2軍3軍ではないはずですが、こと**算数に関しては大阪会場に集まる小学生に歯が立っていません**。